



01_ユーザースタイル

Drawingではオプションテンプレートの線種や色をカスタマイズすることが可能です。
 この「01_ユーザースタイル」は、あるユーザー様の図面スタイルに近づけて自動生成するようにカスタマイズしてあります。
 オプションテンプレートを含むサンプルファイルをファイルダウンロードからダウンロードして、各場所へ設置してください。

オプションテンプレート

■ **midasスタイル**
 Standard List Template.dwg

■ 鉄骨 柱リスト STYLE 02

符号		C1	C2
6F	部材	□-350x350x22/55	/
	材質	BCR295	
	備考		
5F	部材	□-350x350x22/55	φ 406. 4x19
	材質	BCR295	STK400
	備考		

■ **01_ユーザースタイル**
 01_UserStyle-List_V231R9.dwg

■ 鉄骨 柱リスト STYLE 02

符号		C1	C2
6F	部材	□-350x350x22/55	/
	材質	BCR295	
	備考		
5F	部材	□-350x350x22/55	φ 406. 4x19
	材質	BCR295	STK400
	備考		

文字サイズ リスト枠

印刷時

■ 鉄骨柱 リスト

符号		SC1	SC2
4F	部材	□-350x350x19	□-200x200x9
	材質	BCR295	BCR295
3F	部材	□-350x350x19	□-200x200x9
	材質	BCR295	BCR295
2F	部材	□-400x400x19	□-250x250x12
	材質	BCR295	BCR295
1F	部材	□-400x400x19	□-250x250x12
	材質	BCR295	BCR295

■ 鉄骨柱 リスト

符号		SC1	SC2
4F	部材	□-350x350x19	□-200x200x9
	材質	BCR295	BCR295
3F	部材	□-350x350x19	□-200x200x9
	材質	BCR295	BCR295
2F	部材	□-400x400x19	□-250x250x12
	材質	BCR295	BCR295
1F	部材	□-400x400x19	□-250x250x12
	材質	BCR295	BCR295

主な変更場所		midasスタイル	01_ユーザースタイル
文字スタイル	文字フォント	MSゴシック	MSゴシック
文字高さ	一般部	2mm	3mm
寸法スタイル	寸法値	MSゴシック	MSゴシック
画層名	リスト枠	LIST-LINE	S01-図枠
	文字	LIST-TEXT	S13-文字1

※リスト枠の変更は、[構造図面生成マネージャー]>[部材リスト]>[レイアウト設定]
 >[リスト枠設定]>[各部材リスト]にて行います。



01_ユーザースタイル

1 ファイルの設置

プログラムを立ち上げてからオプションテンプレートを配置してもデータは反映されません。
サンプルファイルをダウンロードし、Drawingを閉じた状態で、各ファイルの設置を行ってください。

① サンプルファイルをダウンロード

ページ右下の「ファイルダウンロード」をクリックし、任意の位置にダウンロード



↓ ファイルダウンロード

② 圧縮ファイルを展開(解凍)

圧縮(ZIP形式)ファイルを展開(解凍)

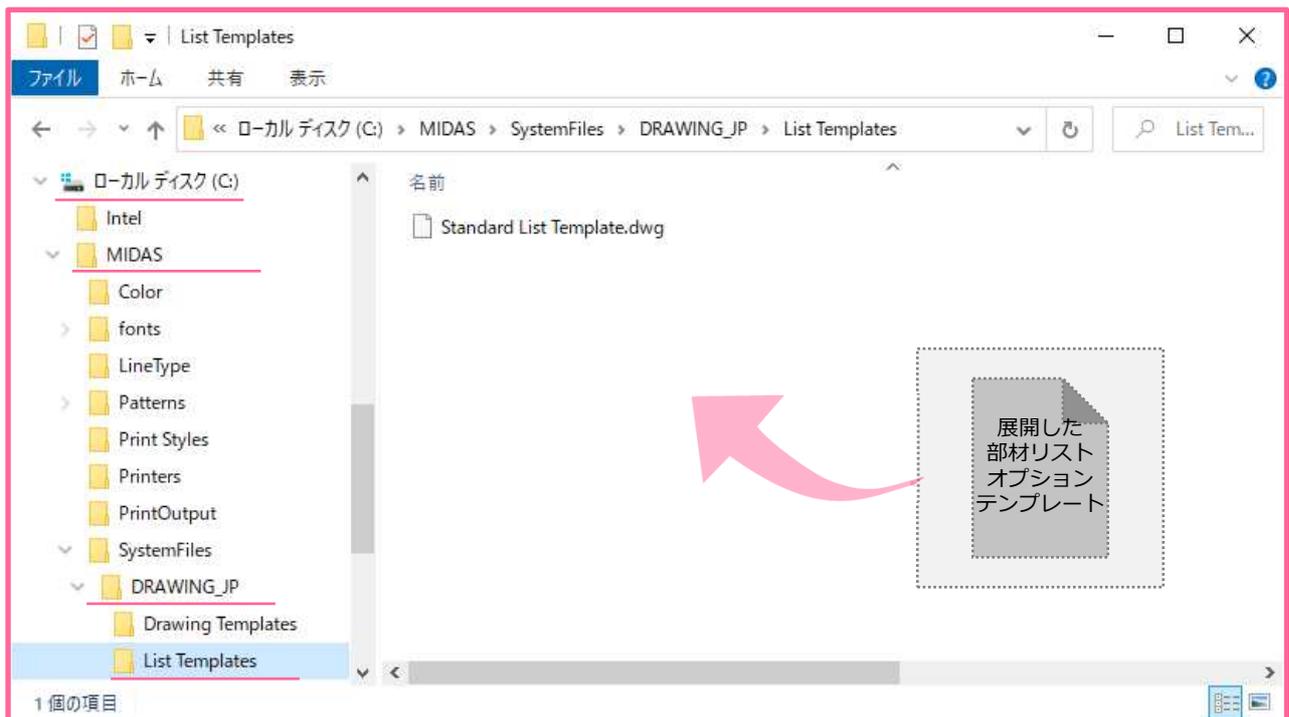
※サンプルファイルには、下記ファイルが入っています。

- ・部材リストオプションテンプレート： 01_UserStyle-List_V231R9.dwg
- ・サンプル図面： 01_ユーザースタイル-サンプル図面[部材リスト].pdf
- ・生成例と使用方法： 01_ユーザースタイル-生成例と使用方法[部材リスト用].pdf

③ 伏軸図面オプションテンプレートの設置

展開したオプションテンプレートファイルを下記フォルダに設置

設置場所： C:¥MIDAS¥SystemFiles¥DRAWING_JP¥List Templates
オプションテンプレート： 01_UserStyle-List_V231R9.dwg





01_ユーザースタイル

|現在のテンプレートに設定

設置したオプションテンプレートを使用するには、図面生成前にそのテンプレートを「現在のテンプレートに指定」する必要があります。

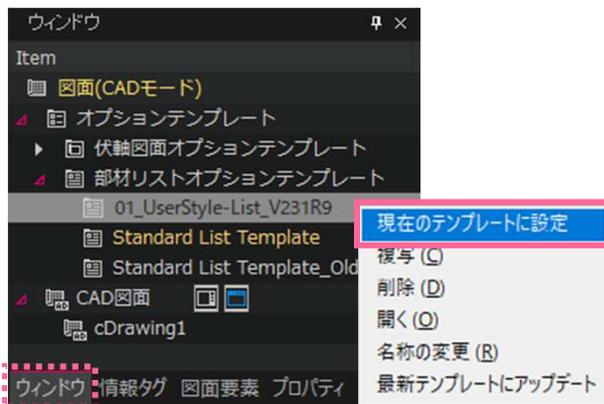
①Drawingを立ち上げる

※プログラムを立ち上げてからオプションテンプレートを配置してもデータは反映されません。



②現在のテンプレートに設定

※ツリーメニュー > ウィンドウ > 部材リストオプションテンプレート > 設定するテンプレート上で右クリック > 「現在のテンプレートに設定」クリック





01_ユーザースタイル

| 「01_ユーザースタイル」で図面生成

「構造図面生成マネージャー」では、オプションテンプレートでは設定できない、図面の表現方法を設定します。ここでは、01_ユーザースタイルに近づけて生成するための設定方法を紹介します。

先に図面生成の流れを説明した後に、構造図面生成マネージャーの設定方法とレイアウト調整を紹介します。

① eGen ファイルを開く

構造図面生成マネージャーを使用するには、eGenファイルをDrawingに読み込む必要があります。

[メニュー]> [図面生成]> [eGenファイルを開く]をクリック

② 構造図面生成マネージャーを設定

「構造図面生成マネージャー」では、オプションテンプレートで設定できない、図の表現方法を設定します。大梁と地中梁では腹筋間隔や鉄筋の種類が異なったり、基礎リストでは上端主筋の出力が異なる場合があります。その場合、部材種類ごとに構造図面生成マネージャーの設定を変更して、生成することも必要です。

[メニュー]> [図面生成]> [構造図面生成マネージャー]> [部材リスト]をクリック



※構造図面生成マネージャーの設定について、詳しくは下記をご覧ください。

操作の学習 > 基本操作編 > 構造図面の自動生成 > 部材リストの生成 >

6. オプション設定-構造図面生成マネージャー

③ 図面生成

[メニュー]> [図面生成]> [部材リストを生成]をクリック

※構造図面の自動生成について、詳しくは下記をご覧ください。

操作の学習 > 基本操作編 > 構造図面の自動生成 > 部材リストの生成